

きたかた通信



北方地区では、地域で暮らす人々が中心となり、地域課題の解決に向けた（取り組みをする）仕組みづくり（地域連携組織の設立）を進めています。



北方小学校 通学路の調査

実施期間：10月28日～11月13日

通学ルート沿いの地域の方々への声かけ・見守り活動のお願いと危険箇所の確認や登校状況の確認のため、子どもたちと一緒に登校し調査しました。



低学年の子どもたちは
上級生の行動をよく見ています

不審車両を見つけたら、
車両ナンバーを覚えて
保護者に伝えている子もいます

ゴミ出し・散歩・買い物の時間を
登下校時にちょっと合わせて



左右確認し横断する子どもたち

子どもの見守りをお願いします



小学校前～改善センターの一本道。見晴らしがよい
ため車のスピードが出やすいです。また通勤時間帯
と重なり交通量も多くなります。時間・心に余裕を
持って運転をお願いします。

屋治・初田・田淵・谷ノ口・古川・羽ヶ瀬地区では
誰かしらの見守りが見られました。

登校の間の短い時間でしたが、子どもたちも
大人と同じように悩みや思いがあり、それぞれに
考えを持って行動し、学校生活を送っているのだ
と知ることができました。

一番遠い初田地区からは
学校まで40分ほど

立ち番指導（PTA）の保護者さま
毎朝ありがとうございます（*^-^）





北方地区の避難場所を探そう会

実施日：10月23日

【旧北方中学校】を
北方地区の避難場所として利用できないか
役員9名で、改善センターから旧北方中学校まで
点検・確認しました。



道幅が狭い・側溝に蓋がないなど現状を確認し、
問題・改善点が多く見られました。
集落ごとに防災協力者の確保、連絡網を作るなど
共助の必要性も感じました。

9月の台風10号の時、事前避難された方のなかには、
「どうして旧北方中学校が避難所ではないのか？」
と思われる方が多いと思います。
串間市ハザードマップによると、旧北方中学校までの道中には、
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の箇所があります。



避難時に土砂災害にあうかもしれない、

避難経路が1本であるため孤立してしまう可能性がある

というのが避難所としての使用が難しいのが現状です。

「いざ」というときあなたの家ではどうする？

「いつ」「どこへ」「どのように」行動をとるのか、
避難計画を家族と話し合っていますか？ 避難場所は、避難所だけでなく安全な
親戚・友人宅に避難することも考えておきましょう。

「いざ」というとき、頼れるご近所さんはいますか？ 普段からご近所付き合いを
意識していますか？ 日頃のお付き合いが災害時の支えに！



北方地区地域連携組織の勉強会

実施日：12月9日

地域連携組織についての勉強会を実施しました。これまでの実績を振り返り、改めて
この組織の必要性を感じました。今後は女性や若い世代の方々へ広めていく予定です。

事務局：北方地区地域連携組織設立準備委員会 串間市役所内 担当：仲田 ☎ 55-1153